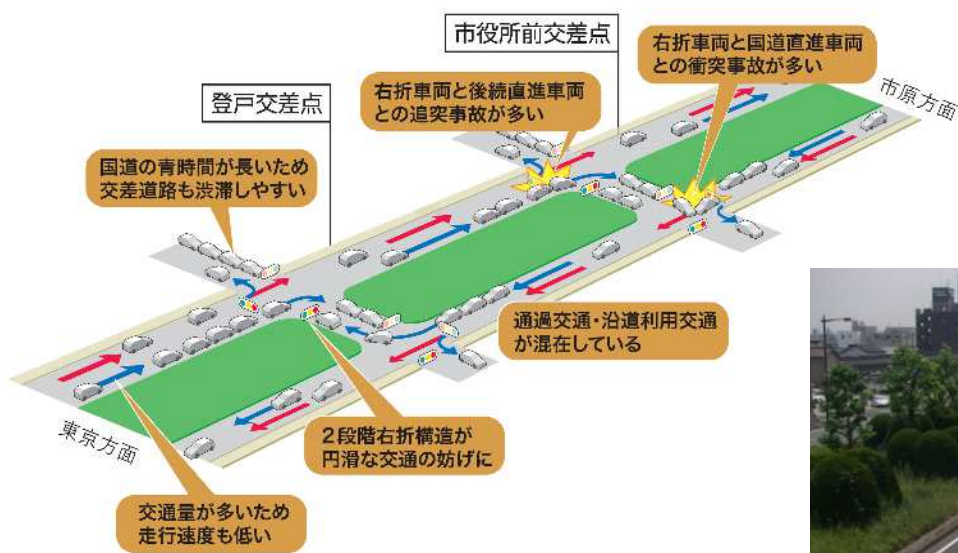


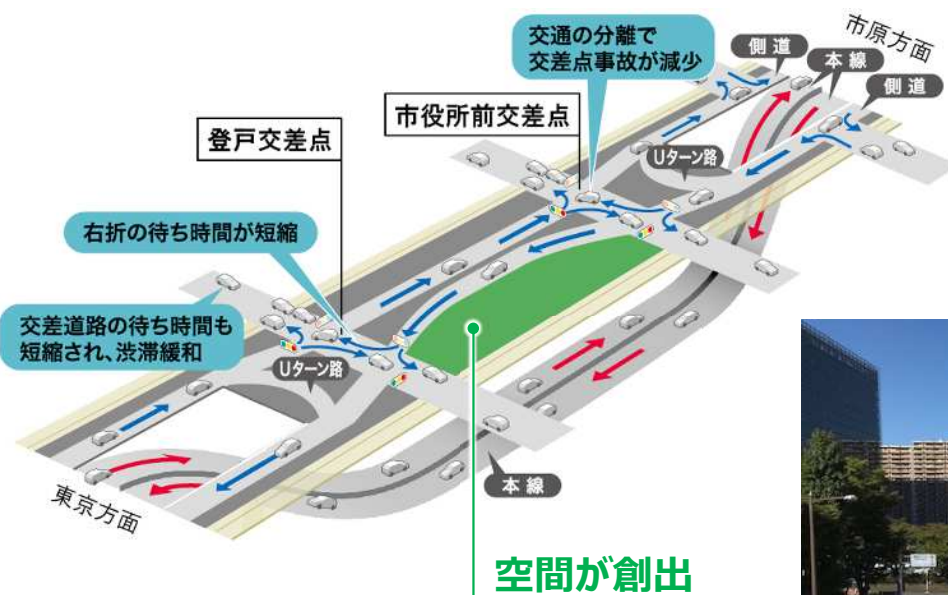
千葉市役所前交差点から市原方面を望む

整備前

4車線の車道に4万台/日以上 of 車両が通行していたため渋滞が発生していました

千葉市役所前に広い空間が創出されました

国道の渋滞解消などを目的として、車道を地下化しました。
国道本線を地下に通した結果、広い空間が創出されました。



整備後

約4万台/日の車両が地下4車線を通過し、地上部の交通は約1万台/日に、車道を2車線に減らしました。



千葉市役所前交差点から東京方面を望む



上部空間を活用した社会実験イベントを開催

千葉国道事務所、千葉市、千葉銀行は、国道の上部空間を活用して、まちなかでのにぎわいを創出することを目指しています。
利用者の滞留性などを検証するため、3者で連携して社会実験イベントを開催しました。



国土交通省のビジョン「2040年、道路の景色が変わる」 において提案しているイメージ



公園のような道路



安全性や快適性が確保された
歩車共存の生活道路

これからの道路について

道路を人々が滞在し、交流できる空間に回帰させることも現代において求められるのではないのでしょうか。
新たな制度を用いて、自動車交通が中心の通りから人が行き交う通りへ転換する取組が各地で進んでいます。



ほこうしゃりべんぞうしんどうろ
歩行者利便増進道路
みち

道路空間をまちの活性化に活用したり、歩道にカフェやベンチ等を置いてゆっくり滞在できる空間にしたいという新たなニーズに応え、
歩行者利便促進道路制度が令和2年に創設されました。



人中心の空間として再生した、
まちのメインストリート



曜日や時間帯に応じて
道路空間の使い方が変わる路側マネジメント

「ほこみち」に指定されると

- ・カフェやベンチ等が置きやすくなります。
- ・民間の創意工夫を活用した空間作りが可能となります。